

# 2016 ティータイム通信

# 11

発行/  
建設許可(般-27)16806号  
(財)住宅保証機構登録店  
人にやさしい家づくり

株式会社 **みのりホーム**  
松山市福音寺町42番地6  
Tel 089-976-0047  
[HP] [みのりホーム](#) [検索]  
[E-mail] [minori@minori-group.com](mailto:minori@minori-group.com)

一級建築士事務所 第3021号  
日本増改築産業協会 正会員

株式会社 **栗田工務店**  
松山市福音寺町42番地6  
Tel 089-993-7555  
[HP] [栗田工務店](#) [検索]  
[E-mail] [kurita39@lilac.ocn.ne.jp](mailto:kurita39@lilac.ocn.ne.jp)



## 「NEWモデルハウス」



毎週  
土・日・祝  
10:00~17:00  
限定公開します!



## 新しい無添加住宅モデルハウス

新しいモデルハウスがオープンしました。無添加住宅おなじみの天然石の屋根は前回のモデルハウスとは異なるグレー色を使用しています。色合い美しく表情豊かなこの石屋根は他にはない風情があります。見た目だけではなく、機能性にも長けています。自由設計でありながら天然素材で出来た無添加住宅は健康住宅の中でも、最も自然に近い家です。約2ヶ月間の公開期間になりますので、この機会に遊びに来てください。

## 旧モデルハウス公開終了間近!

平成28年11月13日(日)で公開終了します!お急ぎ下さい~

毎週 土・日・祝 10:00~17:00 公開

このモデルハウスが完成してから約2年の月日が流れました。これまでたくさんの方にご来場頂きまして誠にありがとうございました。2年間という短い間ではありますが、少しずつ経年美化していく様子をお客様と一緒に体感でき、私たちも感動しております。このモデルハウスもたくさんの方に見て頂いたり、また、新しく住まわれる方が決まって喜んでいると思います。公開終了まであとわずかとなりました。最後にこのモデルハウスをもう一度見たい方、まだ見ていない方、ラストチャンスです!是非この機会にお越し下さい。



## みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つちょっとした小ネタをご紹介します

### ● 第55弾 「11月15日は何の日?」

ご存知でしょうか。11月15日は「こんぶの日」です。七五三の日に子どもたちに昆布を食べて丈夫になってもらおうと1982年に制定されたんです。子どもたちも大好きなのが昆布チップス。だしを取った後の昆布を適当な大きさに切ったら、ハケでみりんを塗り、白ごまをふってレンジでチン!パリッとしてきたらおいしいエコおやつが出来上がりです。

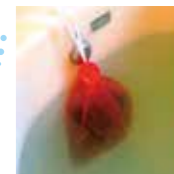
また、お風呂でもこんぶは大活躍



です。実験によると、昆布を入れた「昆布風呂」は、さら湯に比べ、入浴後の肌水分量が増加する傾向が見られました。また、肌のキメの状態を示すキメ画像を見ても、昆布風呂では入浴後の肌のキメが放射状にきれいに整う様子が見られました。乾燥しがちなこの時期にはオススメです。

### ● こんぶ風呂の作り方

- 乾燥させた昆布を5cm角ほどに切ります。1つかみ分を布袋に入れるか、さらし布などで包み、ほどけないように紐でしばっておきます。
- 鍋に布袋を入れ水から煮出し、沸騰させたら煮汁と布袋を浴槽に入れます。



## 無添加住宅

猫と暮らす家

## 完成見学会

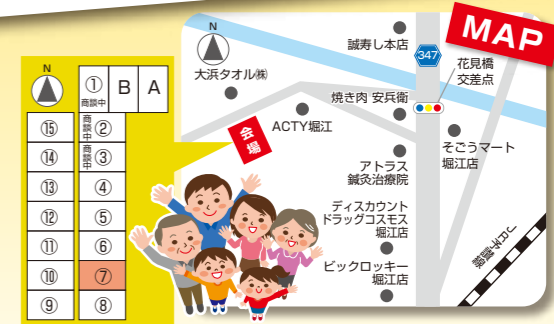
日時 平成28年  
11/19(土)・20(日)  
10:00~17:00 雨天決行

場所 松山市堀江町



来て見てほしいコナー

松山市堀江町に完成した無添加住宅。快適な暮らしが出来るように、細部にまで様々な工夫をしています。何度も打ち合わせを重ね、施主様の思いがたくさん詰まった家になりました。一緒にくらす猫ちゃんのための工夫も見どころです。施主様のご厚意による、2日間限定のイベントになります。今まで見たことある人も無い人も是非この機会にお越し下さい。スタッフ一同、心よりお待ちしております!



## 知っ得! 不動産

## 不動産登記は自分でできるの?



土地や建物を購入した時に、登記申請手続きを司法書士に依頼します。時々、費用を節約したいと考え自分で登記できないかと相談されることもあります。

基本的には自分で登記申請をすることは可能です。法務局の相談窓口に行けば、手続きの仕方、書き方等も

丁寧に教えて頂けます。しかし、住宅ローンを組む場合は、融資の実行などの関係もあり、個人での手続きは出来ません。

また、現金で購入する場合でも売主・買主共同で申請するため、トラブル等のリスクがあり、司法書士に依頼することをオススメします。

やわらぎ便り

—いくし村芋炊き会!!—

先日毎年恒例のいくし村芋炊き会が開かれました。当初は、いくし村を利用されている方とイクションに住まわれている方が中心でしたが、それから月日は流れるもので今ではグループホームいくし、利用者様のご家族、近隣の地域の皆様が加わり、総勢40名を超える人達が参加してくれました。秋の月を見ながらと言いたいところだったのですがあいにくの雨。屋内で宴会をすることとなりました。いくし村の利用者様と職員一同が皮むき、具を切り、協力して気持ちを込めて煮込んだ芋炊きを皆さんに振舞いました。「美味しかった」の一言はやはり私達にとって一番嬉しい言葉でした。芋炊き会も大詰め。いくし村カラオケ大会が始まった。ここで村の重鎮(70代の男性スタッフで利用者・職員からたよりにされる存在)の登場。赤いコードのマイクを握り締め「祭り」を熱唱。響き渡る歌声は、テープ音をかき消すほど…。みんな一生懸命歌う姿に感動し、いくし村の村長(田村)も隣で激しいダンスを踊りノリノリ。芋炊き史上最高潮に笑顔が溢れた。イクション、地域の方々も勢いにのって、私はデジカメのシャッターを切りながら久しぶりに腹を抱えて笑いました。なにより利用者の皆様楽しんでおられた事が嬉しかった。また来年もそれ以降もいくし村の芋炊き会が続いていくことを願いたいと思います。

後日、民生委員さんが訪ねてこられた際「この間の芋炊き美味しかったね。次のカラオケはテープ持参で来ますね。」とおっしゃってくださいました。来年が更に楽しみになりました。

後日、民生委員さんが訪ねてこられた際「この間の芋炊き美味しかったね。次のカラオケはテープ持参で来ますね。」とおっしゃってくださいました。来年が更に楽しみになりました。

ホームページ <http://www.yawaragi-ehime.com/>

小規模多機能型居宅介護  
やわらぎいくし村

山内 一明



現場からの便り

大工事中～壁下地～

西田大工の現場は、道具や材料がいつも丁寧に整えられています。無垢の木の性質を読んで収まりを提案・工夫してくれる、職人として、二児のお父さんとしてこれからも活躍が期待される大工さんです。床の下地もひと工夫されていて、完成した時の楽しみが一つ増えました^^



～2世帯無添加住宅～

松山市で建築中のW様邸。外部下地漆喰施工が完了し、現在、養生期間中です。W様邸はコンパクトにまとまった2世帯住宅。ウォールナットの床やカウンターなど、意匠的にもこだわったつくりになっております。



健康で安全な家を求めて！  
VOL.1-「菌と上手にお付き合い②」

さあ、菌の話の続きです。今回は、私たち自身が菌から派生した…と言いました。その証拠に、私たちの便の重量のおよそ三分の一は実は大腸菌の死骸です。皮膚の表面には乳酸菌とこうじ菌と納豆菌が共生しています。皮膚の上に1平方センチ当たり数千から、多い人で数万もの菌を飼っているという訳です。女性には乳酸菌が多く、この菌の種類によって

ブーツの中が臭いか臭くないかが決まるとい人もいますし、納豆菌の多い人が臭い！という説もあるようです。その納豆菌は枯草(こそう)菌の一種ですが、枯草菌は字の通りに、草が枯れた時に草を分解する菌です。この菌は熱に大変強く100℃に熱しても死なないので、その特性を利用して納豆が作られました。藁を熱湯にくぐらせ、ゆてた大豆をくるみ、40℃くらいの室内に2日くらい置けば納豆になります。稲の藁でなくても、理論的にはどの草からでも納豆が出来るはずなので、私はいろんな草で納豆を作りましたが、スキの納豆が一番美味しかった様に思います。さつき、皮膚の上にも菌がいる！と言いましたので、女性の皆さんは、ええっ！と思われたかもしれませんが、皮膚と共生しているこれらの菌がまったくなくなると、皮膚はガサガサになります。手をアルコール消毒すると急にガサガサになるのは、菌が死んでしまったからなんですよ！どうです？菌っておもしろい、大事でしょ？

栗田工務店 ビフォー・アフター 安心・安全・快適リフォーム!  
今月の Before→After

新築工事 完成!!



外壁は、奥様のお好きなブルーで仕上げました。室内もブルーの壁紙を各所で使用し、統一感のあるお部屋になりました。リビングは温かみのある無垢の桜のフローアを使用し、無塗装品とし無添加の塗料仕上げに。和室は、将来ご両親が来られてもよいように、独立した間取りとなっています。

●お問合せは  
株式会社 栗田工務店  
0120-70-1516



無添加大好き! 私の住まい 吹き抜けが演出する "光の空間"の家 T様邸

「ステキだなあ!と素直に思いました」と一目惚れした無添加住宅のことを語ってくれたT様ご夫妻。「最初は私が“無添加住宅”しかない!って思ってたんですが…」と奥様。すかさずご主人様が「熱を上げたのは、私の方です」と笑います。自由設計にかなりのこだわりを持っておられたので、量産メーカーのありきたりな家では物足らなかつたようです。立地は丘陵地。玄関から入って右手を見ると山林を利用しての借景が広がります。おふたりのご両親もこの日本の伝統を取り入れた提案をととても気に入っているとのことでした。リビングに入ると、外観からは想像できないような吹き抜けに目を奪われます。2階の高さにある30個のガラスブロックからやわらかな光が差し込み、自然素材の空間で遊んでいるようです。そのリビングにある階段は、丸太の手すり。素朴だけれども無

添加住宅ならではのオシャレな仕上がりとなっています。使いやすいキッチンもお気に入り。シンクと調理台がセパレートで対面になっていますが、「動きやすくてとても使いやすいですね」と、ニッコリ。そして外観もT様邸の特徴のひとつ。ジュラシックウッドストーンが鋭角に貼られています。「まるで船の舳先のように、ステキですね〜ってご近所の方から言われるんです」と提案してくれた設計スタッフに感謝されるT様ご夫妻でした。

